

佳作

海上自衛隊の基地へせん入

茨城県 日立市立河原小学校四年 鈴木 紗佳

夏休みに千葉県にある海上自衛隊下ふさこう空基地にせん入するツアーに参加しました。海上というと、海や船のイメージだったけど今回行った基地は飛行機がある場所でした。中はとても広くて、たくさんさんの建物や飛行機基地の中で生活する人のしせつがありました。

参加したツアーでは、飛行機をそうじゅうするシミュレータをやったり、整びの道具をさわったり、飛行機をコントロールするかんせいとうを見学したり、最後には事故が起きた時に出勤する消防車の放水を体験しました。

その中で一番おどろいたことは、かんせいとうは飛行機が安全に着陸できるように案内するところですが、空を飛ぶのは日本だけの飛行機ではないので、英語を使うところでした。そこで仕事をしてい

る人たちは英語で通信をしてすごいなと感じました。

次に面白かったのが、シミュレータという機かいでの飛行機のそうじゅう体験です。たくさんさんの機かいがあつて、レバーを動かすと高さが上がったたり、横に曲がったりします。まどには外の景色がうつり本当にそうじゅうしている感じがしました。地上からみる景色とはちがつてこわかつたし、着陸もむずかしく、本当にお仕事で乗っている人はたくさん訓練をしていると聞き、大変な仕事だと思いました。

基地で働く人たちは毎日訓練と勉強をたくさんして、自衛隊のお仕事をしていることを知りました。私も今回の基地の見学をしたことで、ふだん見たり聞いたりできないことを学びました。

家に帰ってきてから自衛隊について調べてみました。自衛隊は国を守る人たちということしか知らなかったけれど、自衛隊は陸上・海上・こう空の三つに分かれていて、日本のどく立や平和、安全を守るためにあるということが分かりました。また、日本だけではなく世界が安定するように手伝うこともしていて、外国でさい害が起きたときは、その国に向かって助けに行ったり、物をとどけたりする活動を

するそうです。また、外国ではせんそうとうとてもおそろしいことが起きているけれど、日本では、自衛隊が自分たちの国を守りたいせいを整えることで他の国に日本とはせんそうをしたくないと思わせることが重要と知りました。

わたしたちの知らないところで、国を守ってくれている人たちがいるおかげで平和にすごすことができているということを今回学びました。調べたことを全部理かいはするのむずかしいけれど、学んだことを忘れずにいたいと思います。